

携帯電話の適切な利用に向けて —安房と全国の調査結果を比較して—

1 主題設定の理由

近年、携帯電話を持つ子どもが増え、通話だけでなく、メールやインターネットへの接続など、機能を有効に活用し、その利便性を享受している。

その一方で、携帯電話を用いた犯罪や嫌がらせが起きている。これらは、ネット社会に正しく向き合う知識をもたないままの携帯電話の利用が背景にあるといわれて、大きな社会問題になっている。

さらに、文部科学省の調査（H20）では、保護者へのアンケートの結果から、携帯電話やインターネットをめぐる変化に、親の認識が追いついていない実態が明らかになった。

これらのことから、安房地域の子どもたちの携帯電話の利用状況の把握と、その適切な利用方法について、学校と保護者が一体となった指導が急務であると考え、本主題を設定した。

2 研究のねらい

児童生徒の携帯電話の利用実態や文部科学省の全国調査結果との比較から、適切な利用に向けての手立てを探り、今後の指導のあり方について考察し、提言する。

3 研究の内容

○調査対象

南房総市、館山市、鴨川市、鋸南町の小学校6年生、中学校2年生とそれぞれの保護者(抽出)及び各学校の情報教育担当者

○調査内容

①児童生徒

携帯電話の利用についての意識や利用状況について

②保護者

保護者としての子どもの携帯電話に関する意識及び指導の状況について

③情報教育担当者

学校における携帯電話に関する指導の状況について

4 結論

今回の調査により、携帯電話への利用状況や意識があきらかになり、携帯電話の適切な利用に向けて、子ども自身、家庭や学校でどのような手立てができるかわかった。

<提言1—子ども達へ>

ルールやマナーを守ろう。

<提言2—家庭へ>

ルールを作り見守ろう。

<提言3—学校へ>

計画的な指導や情報発信にとりくもう。